

京都市総合防災訓練で地震保険の加入を呼びかけ

～損保社員らが街頭活動を実施～

日本損害保険協会近畿支部京都損保会（会長：榎並 新次・あいおいニッセイ同和損害保険株式会社京都支店長）では、10月28日（土）に、一般社団法人京都損害保険代理業協会および京都府保険代理業協同組合と連携し、京都市が主催する防災訓練に参加しました。

京都市と締結している「損害保険に関する防災連携協定」では、防災知識の普及・啓発や損害保険への加入促進について連携して取り組むとしており、本協定に基づき、京都損保会の会員会社の社員が参加して、京都市岡崎エリアの「岡崎公園」周辺で地震保険の加入を呼びかける街頭啓発活動を行うとともに、「京都市勧業館みやこめッセ」内にブースを設置し、地震保険の加入相談などを行いました。

当日は、地震や水害・土砂災害の備えについて京都府保険代理業協同組合が作成したチラシとあわせて当支部が国土交通省近畿地方整備局と連携して作成した「災害に便乗する悪質な業者に関するトラブル防止に向けた注意喚起チラシ」を配布して、市民の皆様へ情報提供を行い、多くの方に手に取っていただきました。

京都損保会では、引き続き関係機関とも連携し、地域の安全・安心に資する取り組みを積極的に推進していきます。



街頭活動を行う損保社員①



街頭活動を行う損保社員②



街頭活動を行う損保社員③



街頭活動を行う損保社員④



ブース内の相談コーナー



ブース内のゲームコーナー



配布した啓発チラシとノベルティ



京都市総合防災訓練